

1 | 各ブロック活動報告

活動内容

ゴミゼロ事業

① 日時

2024年10月・2025年5月

② 場所

秋：道内各地域23か所（メーカーごと開催）
春：道内各地域28か所（メーカーごと開催）

③ 参加者

秋：250名
春：2350名

④ 内容報告

5月の春のゴミゼロ活動は例年と同様に各メーカーごとに開催し、株式会社ダスキンは道内5エリアで2100名、株式会社サニクリーン北海道では道内13営業所で80名、北海リースキン株式会社では道内4か所で120名、株式会社光生舎では道内6か所で50名と合計28か所2350名という、多くの方にご参加いただき事業を遂行することができました。

一方、秋のゴミゼロ活動では、ダスキンの会員様が同時期に独自の清掃活動を行っていたこともあり、当協会としての活動参加者の募集が難航したため、参加者数は250名にとどまりました。

今後は、より多くの方にご参加いただけるよう努めて参ります。



1 | 各ブロック活動報告

活動内容

北海道地域ブロック会員交流会①
親睦ゴルフコンペ

① 日時

2024年6月26日

② 場所

札幌リージェントゴルフ倶楽部 新コース

③ 参加者

3組10名

④ 内容報告

会員相互の親睦を図るため、北海道地域ブロック会総会の翌日に親睦ゴルフコンペを行いました。参加者は日本ダストコントロール協会本部から2名、ダスキンの小島から3名、サニクリーンから3名、リースキンから2名の計10名の皆様にご参加いただきました。当日は好天に恵まれ、和やかな雰囲気の中でプレーが行われ、成績についてはグロス88・ハンディキャップ16.8・ネット71.2でダスキンの小島会員が見事優勝されました。

なお、近年のコンペでは札幌市内近郊の会員様が中心となっていますが、過去には道東方面などからもご参加いただいた実績があります。

今後は、より多くの会員様にご参加いただけるよう、お声掛けや案内を積極的に行い、更なる会員相互の親睦を広げてまいります。



1 | 各ブロック活動報告

活動内容

北海道地域ブロック会員交流会②
ボウリング大会・懇親会

① 日時

2025年5月16日

② 場所

サッポロオリンピックボウル
サッポロビール園

③ 参加者

64名

④ 内容報告

会員相互の親睦を深めるため、ボウリング大会と懇親会を開催しました。
参加者はダスキン32名、サニクリーン16名、リースキン16名の合計64名で、16チームに分かれて2ゲームのチーム戦・個人戦を行いました。
協議終了後はサッポロビール園に移動し、ジンギスカンを満喫しながら懇親会を実施いたしました。チーム賞・個人賞の表彰も行われ、今回はダスキンの女性チームが見事優勝を飾りました。
本大会は恒例の行事として多くの皆様に楽しみにしていただいております、今後も交流の輪を広げる場として継続していきたいと考えております。



1 | 各ブロック活動報告

活動内容

日本赤十字社へ献血促進月間キャンペーン協賛

① 日時

2025年1月21日

② 場所

北海道赤十字血液センター

③ 参加者

北海道ブロック会役員

④ 内容報告

日本赤十字社 北海道赤十字血液センター様への協力としてダスキン・サニクリーン・リースキンの各社様のスポンジを合計1000個協賛いたしました。各スポンジには日本ダストコントロール協会北海道地域ブロック会の名称、協会のDCロゴ、昨年の3Rイラスト最優秀賞作品のシールを貼り付けし、協会の活動周知と認知度向上を目的とした取り組みとなっております。

この活動はコロナ禍で全国的に献血協力者数が減少した2023年からスタートし、今回で3年目を迎えました。特に北海道では冬季間は外出を避ける方が多く、献血者数が減少し血液不足となる傾向があり、この状況を少しでも解消に貢献できるよう、献血いただいた方へのお礼品としてスポンジを協賛しております。

今後も社会貢献活動の一環と、協会の認知度向上にむけ引き続き協力をしてまいります。



1 | 各ブロック活動報告

活動内容

献血促進運動

① 日時

2025年3月～4月

② 場所

道内各地域 各メーカー毎開催

③ 参加者

献血協力者数81名

④ 内容報告

日本赤十字社様へのスポンジ協賛とあわせて、社会貢献活動の一環として献血への協力促進も行いました。

ダスキン3名、サニクリーン51名、リースキン27名の合計81名と、多くの方々に献血のご協力をいただいております。ご協力いただいた皆様には、北海道地域ブロック会よりクオカード1000円分をお礼品として進呈させていただきました。

特に写真が掲載されているサニクリーン北海道様では、毎年積極的な取り組みを行っており、本年も本社敷地内に献血バスを招致し、札幌市内および近郊の社員やそのご家族など大変多くの方にご参加いただきました。さらに、この活動をグループ報に掲載し社内外に広く周知するなど、継続的な貢献を続けています。

今後もこのような取り組みを通じて、社会に貢献し、地域とのつながりを深めてまいります。



2 | 今後のDC業界における、新しい取り組み（チャレンジ）

発表する内容に○	○	社会（地域貢献）
		親睦による協会のPR活動
	○	協会として実現したいこと
		その他

■ 発表者	北海道地域ブロック会 会長 山口 富士男
■ テーマ	・ 廃棄資材の活用方法 ・ 森林植樹活動 ・ 地域イベントでの清掃活動
■ ブロック会 役員メンバー	山口会長・井元副会長・宮下副会長・中村事務局長 田中監査役・谷口役員・岩本役員・藤沢役員 東海役員・工藤役員・水間役員 計11人

2-1 | 今後のDC業界における、新しい取り組み（チャレンジ）

チャレンジすること

- ・ 廃棄資材の活用方法（劣化マットのリサイクルなど）
- ・ 森林植樹活動
- ・ 各イベント等の開催前後で清掃活動（地域マラソンなど）

チャレンジするためにやるべきこと

- ・ リサイクル方法の模索、ゴムリサイクルなど地域業者の情報収集、各メーカーの劣化マット廃棄状況の情報整理
- ・ 植樹活動地域の選定（被災地など復旧や再生のための植樹）、管理方法の検討、許可申請交渉、メーカー・企業へ費用依頼、カーボンオフセットにも活用できるように活動を継続する
- ・ 地域イベントの開催情報や主催者及び自治体との連携した実施許可や協力体制の確認

2 - 1 | 今後のDC業界における、新しい取り組み（チャレンジ）

協会本部に対する要望

- ・ リサイクル手法など情報の教授
- ・ 資金面の支援、広報・PR面の協力、関連自治体や団体との調整や紹介

その他